



OASE Operation Autonomy Support Engine

クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

第1.0版

Exastro developer

目次

1. はじめに

- 1.1 ログイン画面
- 1.2 画面説明 (Dashboard画面)
- 1.3 画面説明 (アクション設定画面)
- 1.4 画面説明 (ディシジョンテーブル画面)
- 1.5 画面説明 (ルール画面)
- 1.6 画面説明 (リクエスト履歴画面)
- 1.7 画面説明 (アクション履歴画面)

2. シナリオ説明

- 2.1 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ

3. 実行前準備

- 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)
- 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)
- 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)
- 3.2 ディシジョンテーブルの作成
- 3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)
- 3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)
- 3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 3.5 テストリクエスト(1/2)
- 3.5 テストリクエスト(2/2)
- 3.6 プロダクション適用

4. 実行操作

- 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)
- 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)
- 4.2 アクション実行結果の確認

A 付録

- サンプル1 (1/3)
- サンプル1 (2/3)
- サンプル1 (3/3)

1. はじめに

1.1 画面説明（ログイン画面）

OASEログイン

- 以下のURLへアクセスすると、ログイン画面が表示される。

https://exastro-oase/oase_web/top/login



POINT

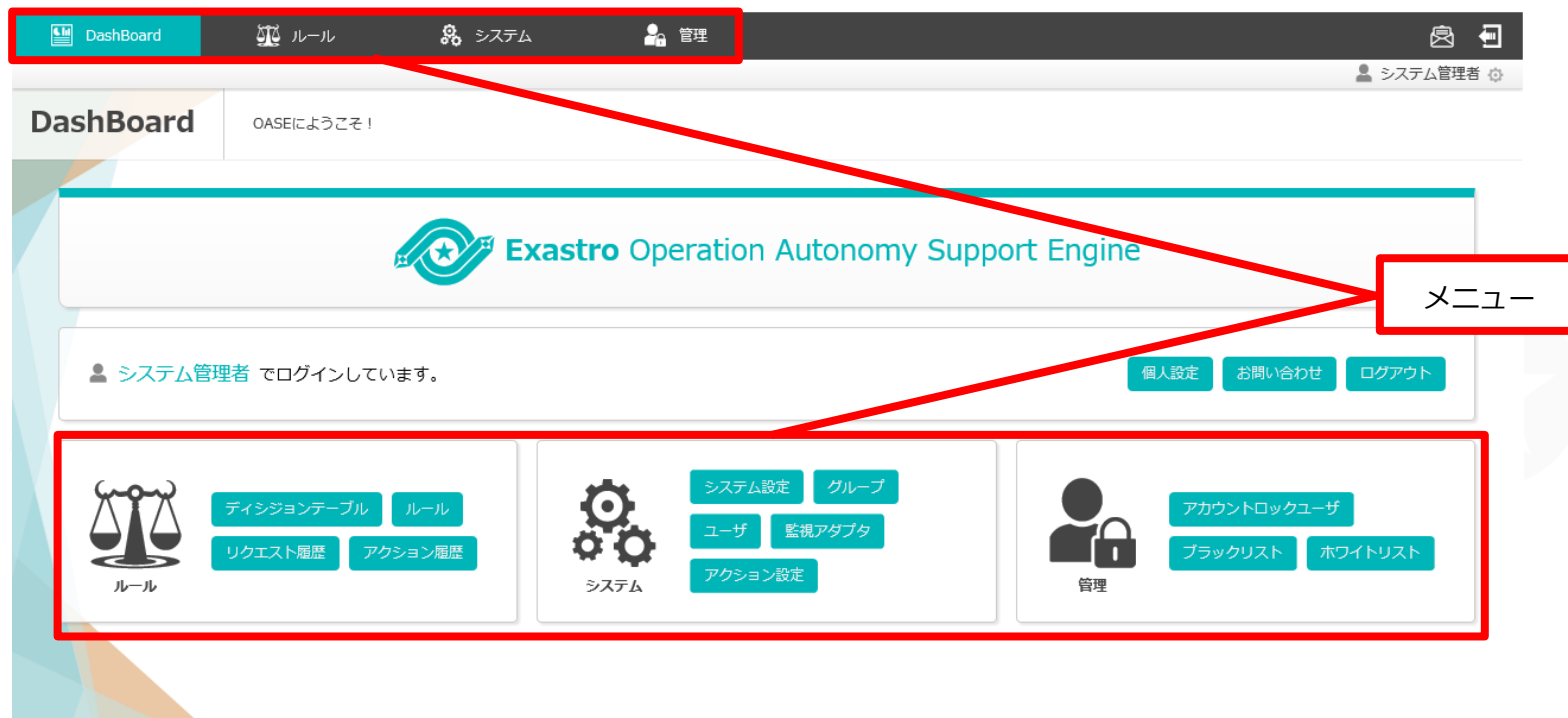
OASE導入は
[＜環境構築マニュアル-基本編-＞](#)
および
[＜OASE Learn-導入編-＞](#)
を参照してください。

POINT

初回ログイン時は、ログイン直後に
パスワード変更を求められます。

1.2 画面説明（Dashboard画面）

基本的なメニューの概要は以下の通り
（ログイン画面 > DashBoard）



■メニューの概要

- ・ **ルール** : ルール作成やアクション結果を管理
- ・ **システム** : OASE全般や各種設定・権限を管理
- ・ **管理** : セキュリティ関連を管理

POINT

各メニューの機能詳細は
マニュアルを参照してください。

1.3 画面説明（アクション設定画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用

（DashBoard > システム > アクション設定 > mail Driver ver1）

アクション設定

ITA Driver ver1 mail Driver ver1 ①

mail Driver ver1

メールテンプレート ④

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
🔍	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
🔍	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47
🔍	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
🔍	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

■ 機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報
- ③ インストール済のドライバに
アクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.4 画面説明（ディシジョンテーブル画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > ディシジョンテーブル)

操作	ルール種別	最終更新者	最終更新日時
  	ルール種別001	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
  	ルール種別002	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
  	ルール種別003	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
  	ルール種別004	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
  	ルール種別005	システム管理者	2020年 04月 06日 13:58

■ 機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブル
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.5 画面説明（ルール画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用

（DashBoard > ルール > ルール > ステージング適用ルール）

- ディシジョンテーブルファイルをステージング環境にアップロードし、テストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合、適用ボタンが有効になる。

① テストリクエスト

② アップロード

操作	ルール種別	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
③	ルール種別003	RuleTable003.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 08日 15:14
	ルール種別002	RuleTable002.xlsx	未適用	アップロード異常終了	システム管理者	2020年 04月 06日 16:29
	ルール種別001	RuleTable001.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 06日 14:32

プロダクション適用ルール

■ 機能説明

- ① ディシジョンテーブルファイル进行操作するボタン
- ② アップロードしたディシジョンテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.5 画面説明（ルール画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > ルール > プロダクション適用ルール)

The screenshot shows a web application interface for rule management. The top navigation bar includes 'DashBoard', 'ルール' (Rules), 'システム' (System), and '管理' (Management). The 'ルール' section is active. Below the navigation bar, there are two main sections: 'ステージング適用ルール' (Staging Application Rules) and 'プロダクション適用ルール' (Production Application Rules). The 'プロダクション適用ルール' section is highlighted with a red box and a red circle with the number 1. The table in this section has the following data:

操作	ルール種別	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別001	RuleTable001.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2020年 04月 06日 14:33

■ 機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき
実際に運用されることが決定したルールの一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.6 画面説明（リクエスト履歴画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > リクエスト履歴)

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ルール種別	リクエスト受信日時	イベント情報	
✓	ステージング環境	ルール種別	2020年4月9日17:04	{"EVENT_INFO":["10001"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別003_deleted_2020040910191586427587_deleted_2020040910231586427830	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	ステージング環境	ルール種別003_deleted_2020040910191586427587_deleted_2020040910231586427830	2020年4月8日15:13	{"EVENT_INFO":["1"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:41	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:40	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:38	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日14:40	{"EVENT_INFO":["1"]}	201
✓	ステージング環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日14:31	{"EVENT_INFO":["1"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別F01_deleted_2020040604541586148869_deleted_2020040604551586148954	2020年4月3日15:50	{"EVENT_INFO":["1"]}	201

■ 機能説明
















① ヒットしたルールとそのステータス一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.7 画面説明（アクション履歴画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > アクション履歴)

アクション履歴						
① 状態	操作	ルール種別	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:41	アクションドライバープロセス
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:40	アクションドライバープロセス
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:38	アクションドライバープロセス
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 14:41	アクションドライバープロセス
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 03日 15:50	アクションドライバープロセス

■ 機能説明

- ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

2. シナリオ説明

2.1 本書のシナリオ

OASEインストール後からアクション履歴が詰まれるまでのシナリオ

実行前準備

- 1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 2 ディシジョンテーブルの作成
- 3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
- 4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 5 テストリクエスト
- 6 プロダクション適用

実行操作

- 7 curlコマンドによるリクエスト送信
- 8 アクション実行結果の確認

POINT

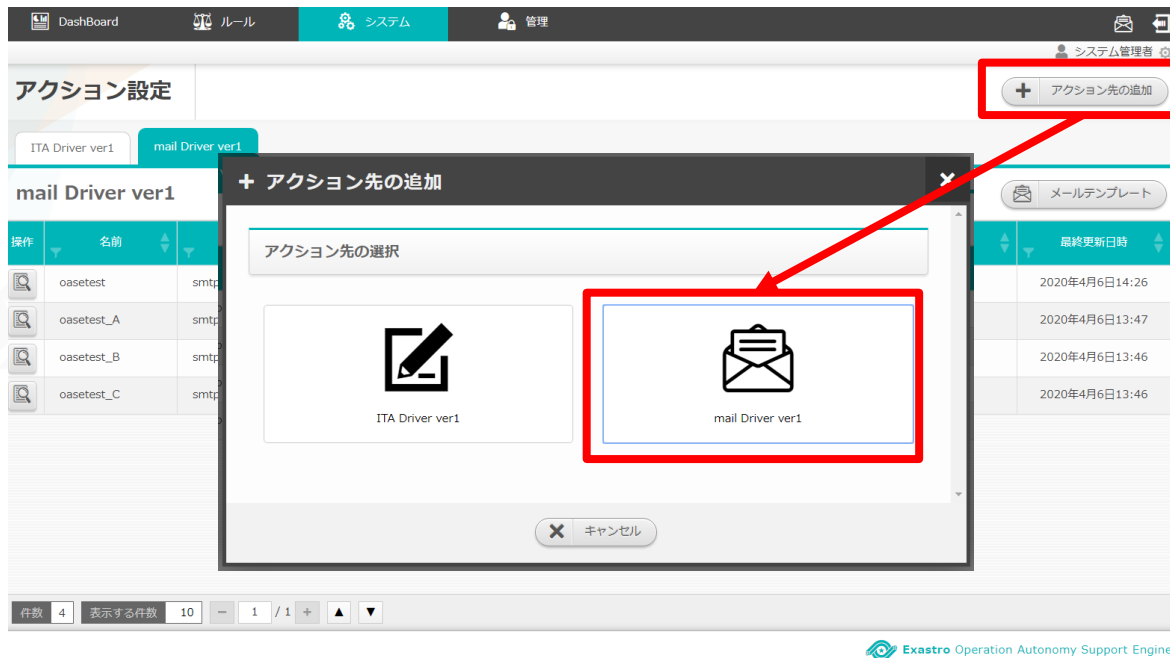
実行前準備としてドライバの設定およびルールを登録する。
実行操作としてOASEにメッセージを投入しルールマッチング及びアクション実行する。

3. 実行前準備

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

アクション先の追加

- 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下し「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択する。



メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

メールドライバの登録がない場合は[<環境構築マニュアル-ドライバインストール編>](#)を参照してください。

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

アクション先の設定

- 必要情報を入力し「保存」ボタンを押下する。

mail Driver ver1

名前 *	oasetest
プロトコル	smtp
smtpサーバ *	0.0.0.0
ポート *	25
ユーザ名	sample@example.com
パスワード

キャンセル 戻る 保存

項目	設定値
名前	任意のアクション先名を入力
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
Smt サーバ	プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること
ポート	通信に用いるポート番号を入力
ユーザ名	メールの送信元となるユーザ名を入力
パスワード	認証に必要なパスワードを入力

POINT

「項目：名前」は、後述するディシジョンテーブルファイル作成時に「どのアクション先に対してアクション実行するか」指定するために使用します。

POINT

「項目：ユーザ名」は、メールの送信元として表示されます。

POINT

* のつく項目は入力必須です。

メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルのアップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

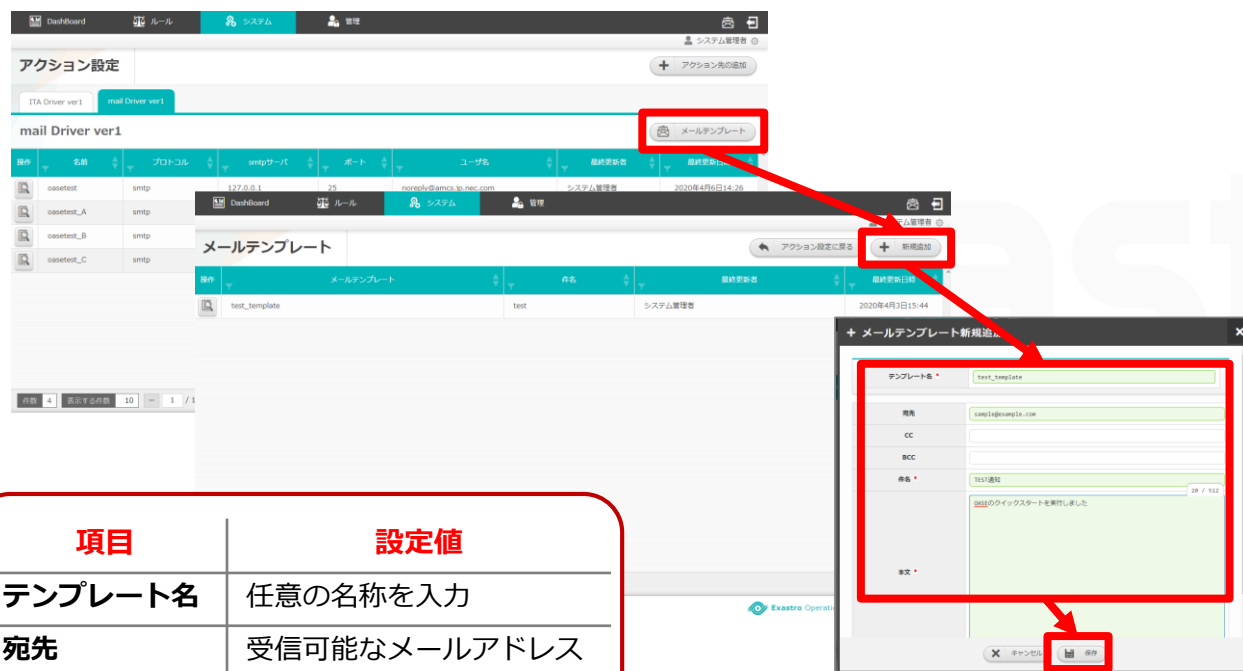
curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

メールテンプレートの作成

- 「メールテンプレート」 ボタンを押下し「新規追加」 ボタンを押下する。
- 「メールテンプレート新規追加」 画面で必要情報を入力し「保存」 ボタンを押下する。



項目	設定値
テンプレート名	任意の名称を入力
宛先	受信可能なメールアドレス
CC	任意、空白可
BCC	任意、空白可
件名	任意の文字列を入力
本文	任意の文字列を入力

POINT

「項目：テンプレート名」は後述する
ディビジョンテーブルファイル
作成時に「どのメールテンプレートを使用する
のか」指定するために使用します。

POINT

* のつく項目は
入力必須です。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.2 ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルの作成

- 「ディシジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下し、「新規追加」画面で「基本情報・権限」タブおよび「条件式」タブの必要情報を入力し「保存」ボタンを押下する。
- 「ルール種別」「RuleTable」「条件名」には任意の文字列を入力する。
- 「条件式」はプルダウンメニューから選択する。

The screenshot shows the 'New Addition' (新規追加) screen for creating a Decision Table. The screen is divided into two tabs: 'Basic Information & Permissions' (基本情報・権限) and 'Conditions' (条件式). In the 'Basic Information' tab, the 'Rule Type' (ルール種別) is set to 'RuleTable', and the 'Rule Name' (ルール名) is 'RuleTable'. In the 'Conditions' tab, two conditions are defined: 'Message ID' (メッセージID) with the value '同じ(新値)' and 'Message ID' (メッセージID) with the value '同じ(旧値)'. Red arrows indicate the flow from the 'New Addition' button in the main menu to the 'Basic Information' tab, then to the 'Conditions' tab, and finally to the 'Save' (保存) button.

POINT

「項目：ルール種別」は「作成したディシジョンテーブル名」として扱われます。
「項目：RuleTable」はエクセルとしてアウトプットされる「ディシジョンテーブルファイル名」として扱われます。

POINT

ここで設定した条件式には、後述するディシジョンテーブルファイルで具体値を設定します。

POINT

* のつく項目は入力必須です。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

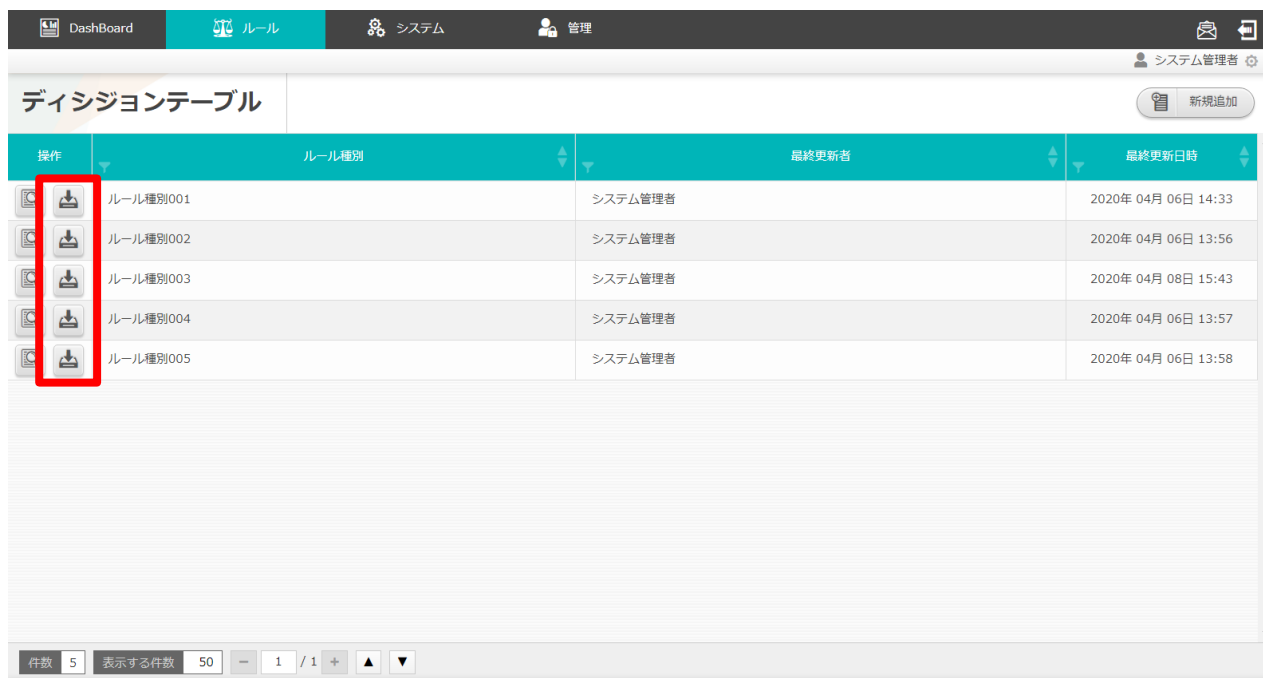
curlコマンドによる
リクエスト送信






アクション実行結果の確認

3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)

ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 「3.2 ディシジョンテーブルの作成」で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。



操作	ルール種別	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別001	システム管理者	2020年 04月 06日 14:33
	ルール種別002	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
	ルール種別003	システム管理者	2020年 04月 08日 15:43
	ルール種別004	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
	ルール種別005	システム管理者	2020年 04月 06日 13:58

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

ダウンロードされるファイル名は
先述の「項目：RuleTable」で入力した任意の文字列です。
各項目の記述内容については次のページで説明します。

3.3 デイシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)

ディシジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディジショナルテーブルファイルの使用例は後述の「A 付録 サンプル1」を参照

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a table containing 14 columns and 10 rows. The table is divided into four sections by red vertical lines, labeled 1, 2, 3, and 4. Section 1 contains columns B and C, Section 2 contains columns D and E, Section 3 contains columns F through L, and Section 4 contains columns M and N. The table has a header row (row 1) and data rows (rows 2-10). The data rows contain numerical values in columns B, C, D, and E, and text descriptions in columns F through L. The status bar at the bottom indicates '準備完了' (Ready) and '64'.

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。 ・ アクションを実行してもよいが、事前承認メールを送る設定も可能。 ・ 「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クイックスタートでは「mail Driver ver1」を設定) ・ アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

メールドライバの設定と メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディジジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作

ディジショナルテーブルファイルのアップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる リクエスト送信

アクション実行結果の確認

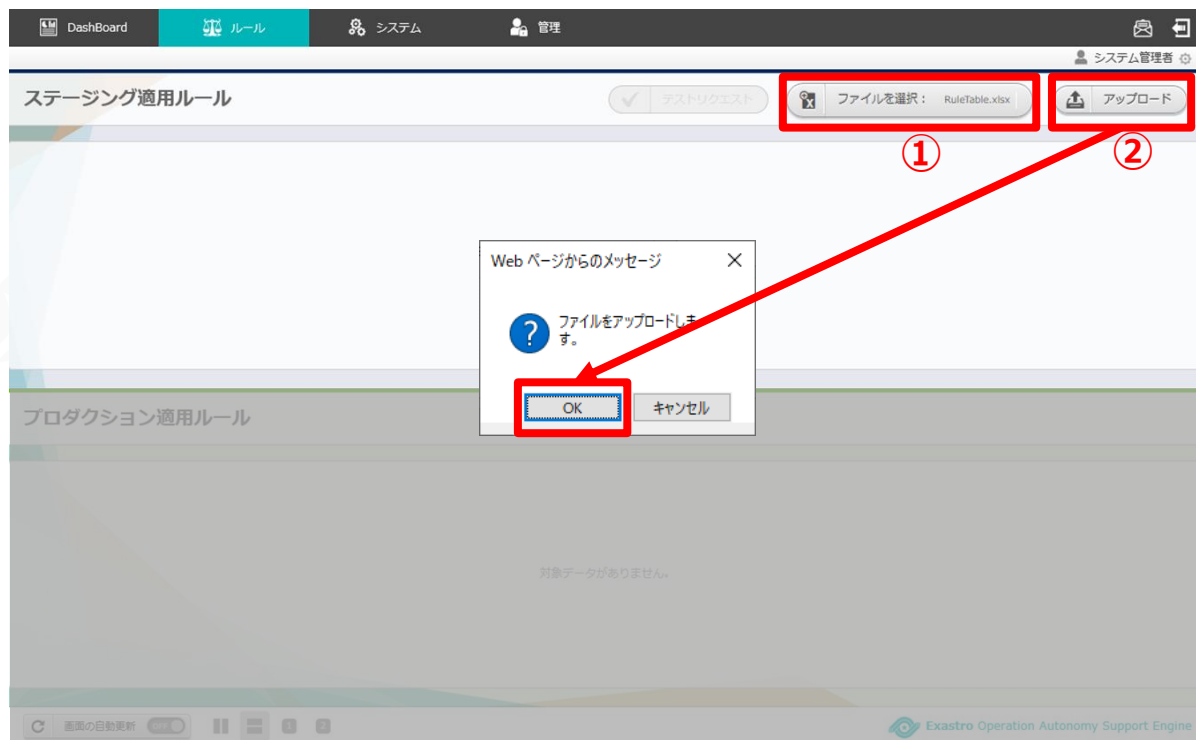
POINT

値の記述方法はディシジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。

3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード

■ テストリクエストしたいディシジョンテーブルファイルを選ぶ

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押下し、作成したディシジョンテーブルファイルを選択する。
- ② 「アップロード」ボタンを押下する。



メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

ファイル名は<3.2 ディシジョンテーブルの作成>のRuleTable欄で入力した文字列です。

3.5 テストリクエスト(1/2)

テストリクエスト対象の選択

- 「作業ステータス」欄が「ステージ適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下する。
- 「ルール種別選択」欄からテストしたいルール種別を選択し「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下する。

Dashboard ルール システム 管理 システム管理者

ステージング適用ルール

✓ テストリクエスト ファイルを選択: ファイルが選択されていません。 アップロード 過去を含め表示 OFF

操作	ルール種別	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
✓	ルール種別	RuleTable.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 09日 16:02
				ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 08日 15:14
				アップロード異常終了	システム管理者	2020年 04月 06日 16:29
				ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 06日 14:32

テストリクエスト

種類 設定 ログ

ルール種別

ルール種別選択

ルール種別
ルール種別003
ルール種別002

ルール種別を選択してください。

テストリクエスト設定へ

作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
プロダクション適用完了	システム管理者	2020年 04月 08日 15:43
プロダクション適用完了	システム管理者	2020年 04月 06日 14:33

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。

作業ステータスの遷移については

<利用手順マニュアル-ルール画面編-(1)ルール画面(ステージング)>を参照ください。

メアドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

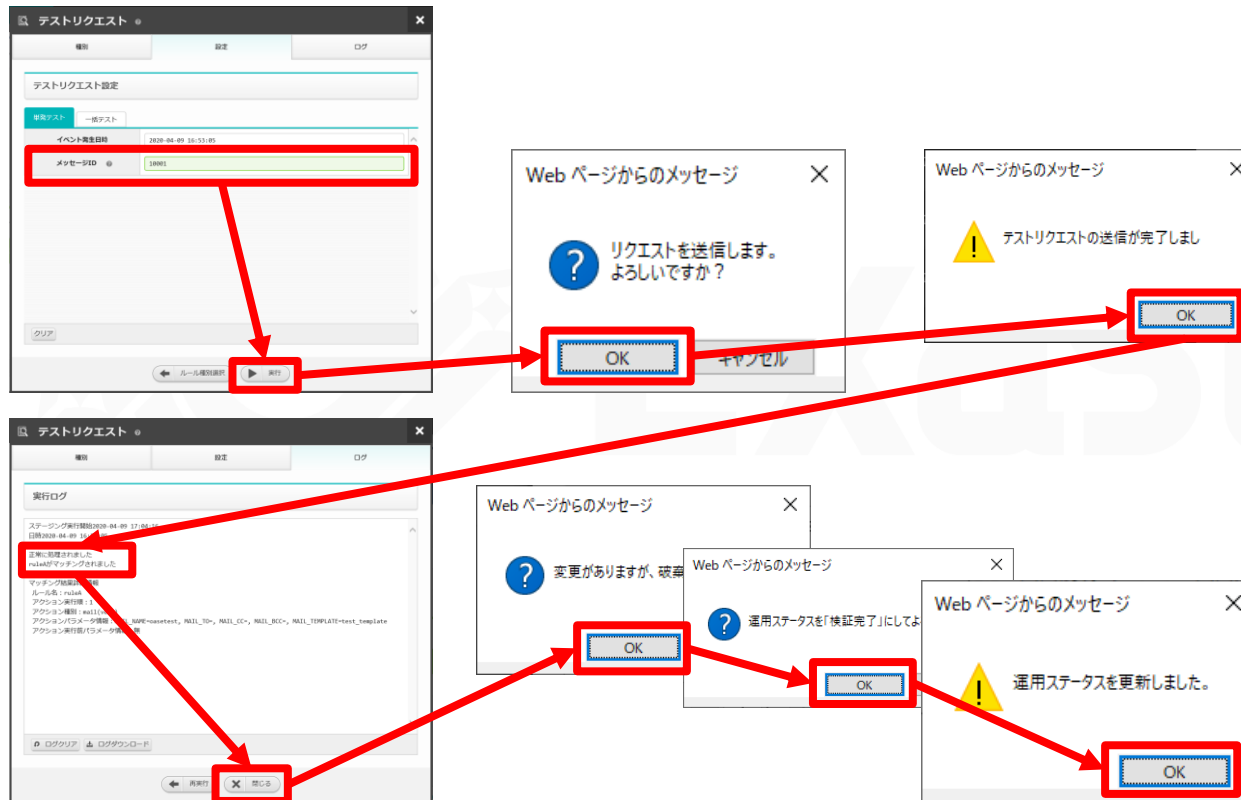
curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.5 テストリクエスト(2/2)

テストで値を入れて実行し、ルールが有効か確認する

- 「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力し「実行」ボタンを押下する。



メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

<3.3 ディビジョンテーブルファイルの作成(エクセル)>で作成したルールに合致する場合「実行ログ」に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

3.6 プロダクション適用

検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするため「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。
- ① テストリクエストが正常にルールマッチングされた場合
ステージング環境の運用ステータスは「検証完了」に移る。
- ② 「適用ボタン」を押下しプロダクション環境の運用ステータスが
「プロダクション適用完了」に遷移すると本番環境で使用方法が可能となる。

The screenshot shows the 'ルール' (Rules) management interface. At the top, there's a navigation bar with 'Dashboard', 'ルール' (selected), 'システム', and '管理'. Below it, the 'ステージング適用ルール' (Staging Applied Rules) section is active. It contains a table with columns: 操作 (Action), ルール種別 (Rule Type), ルールファイル (Rule File), 運用ステータス (Operational Status), 作業ステータス (Task Status), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Time). The first row shows a rule with '検証完了' (Verified) in the operational status and 'ステージング適用完了' (Staging Applied) in the task status. A red arrow points from the '検証完了' status to a confirmation dialog box. The dialog box has a question mark icon and the text 'プロダクション適用します。よろしいですか？' (Apply to production. Is it okay?). Below the dialog is an 'OK' button. Another red arrow points from the 'OK' button to a second dialog box. This dialog box has a warning icon and the text 'プロダクション適用処理を開始します' (Start production application processing). Below it is another 'OK' button. A final red arrow points from this 'OK' button to the 'プロダクション適用完了' (Production Applied) status in the table below. The bottom section, 'プロダクション適用ルール' (Production Applied Rules), shows the same rule with 'プロダクション適用' (Production Applied) in the operational status and 'プロダクション適用完了' (Production Applied) in the task status.

A vertical sidebar on the right side of the page lists the steps for applying a rule to production. The steps are: 'メールドライバの設定とメールテンプレートの作成' (Configure mail driver and create mail template), 'ディビジョンテーブルの作成' (Create division table), 'ディビジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作' (Create division table file ※Excel operation), 'ディビジョンテーブルファイルのアップロード' (Upload division table file), 'テストリクエスト' (Test request), 'プロダクション適用' (Production application) - this step is highlighted with a red box, 'curlコマンドによるリクエスト送信' (Send request by curl command), and 'アクション実行結果の確認' (Check action execution result).

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については
[<利用手順マニュアル-ルール画面編-\(2\)ルール画面\(プロダクション\)>](#)を参照ください。

4. 実行操作

4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

●ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えたうえで実行する。

※具体的なcurlコマンドの使用例は後述の「A 付録 サンプル1」を参照

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{¥"ruletable¥":¥"<②ルールテーブル名>¥",¥"requesttype¥":¥"<③リクエスト種別>¥",¥"eventdatetime¥":¥"<④イベント発生日時>¥",¥"eventinfo¥":¥"<⑤イベント情報>¥"}"
```

項目	設定値
①ホスト名	有効なホスト名、IPアドレスを入力
②ルールテーブル名	プロダクション適用済みのルールファイル名（「.xlsx」を抜いたもの）を入力
③リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」であるため「1を入力」 例) ¥"requesttype¥":¥"1¥",
④イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) ¥"eventdatetime¥":¥"2020/01/01 01:01:01¥",
⑤イベント情報	リスト形式で指定 例) [¥"2¥",¥"あああ¥"]

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

HTTPSリクエストの詳細については[<RestAPI機能 利用マニュアル>](#)を参照してください。

4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。

リクエスト履歴					
ルールマッチ状況	リクエスト種別	ルール種別	リクエスト受信日時	イベント情報	
✓	ステージング環境	ルール種別	2020年4月9日17:04	{"EVENT_INFO":["10001"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別003	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO":["1"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別001	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO":["1"]}	20

※「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能

リクエスト履歴					
ルールマッチ状況	リクエスト種別	ルール種別	リクエスト受信日時	イベント情報	
✓	プロダクション環境	ルール種別	2020年4月9日19:14	{"EVENT_INFO":["10001"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月9日19:14	{"EVENT_INFO":["1"]}	20
✓	ステージング環境	ルール種別	2020年4月9日17:04	{"EVENT_INFO":["10001"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別003_deleted_2020040910191586427587_deleted_2020040910231586427830	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO":["1"]}	20

件数 18 表示する件数 50 1 / 1

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディビジョンテーブルの作成

ディビジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディビジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

アクション実行

- ルールマッチした場合、実行前準備で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- [<3.3 ディジジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作>](#)のアクション部で設定した通りアクションが実行される（mail Driver を指定したとおりメールが通知される）。

メール通知

- [<3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成\(3/3\)>](#)で設定した宛先・件名・本文のメールが届く。

アクション履歴

- ルールマッチングされ実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。

Dashboard ルール システム 管理 システム管理者						
アクション履歴						
状態	操作	ルール種別	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓	  	ルール種別003	rule01	mail(ver1)	2020年 04月 08日 15:48	アクションドライバプロシージャ
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 08日 15:48	アクションドライバプロシージャ
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:41	アクションドライバプロシージャ
✓	  	ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:40	アクションドライバプロシージャ

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディジジョンテーブルの作成

ディジジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディジジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

A 付録

サンプル1 (1/3)

■ サンプル値を入力しOASEを実行する

- メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時
「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という情報のメールが送信されるアクションを実行させたい場合。

【実行前準備】

① 「アクション設定」画面

アクション先となるドライバ
「mail Driver ver1」を用意する

・名前	: oasetest
(他、必要情報を登録)	

メールドライバ使用時に必要な「メールテンプレート」を作成

・テンプレート名	: test_template
・件名	: 【OASE】通知テスト
・本文	: [ACTION_INFO] [EVENT_INFO]
(他、必要情報を登録)	

② 「ディシジョンテーブル」画面

「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

・ルール種別	: マッチングテスト
・RuleTable	: test
・条件名	: メッセージID
・条件式	: 等しい(数値)

POINT

本書内の
[< 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成 >](#)
および
[< 3.2 ディシジョンテーブルの作成 >](#)
で説明した範囲です。

サンプル1 (2/3)

③ 「ディシジョンテーブル」 ファイル

「メッセージID : 10001」 がヒットするルールを作成する

・メッセージID (等しい(数値))	:	10001
・アクション種別	:	mail(ver1)
・アクションパラメータ情報	:	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template
(他、必要情報を登録)		

④ 「ルール (ステージング適用ルール) 」 画面

作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

・ファイルを選択	:	test.xlsx
----------	---	-----------

⑤ 「テストリクエスト」 画面

アップロードしたディシジョンテーブルファイルにリクエスト「メッセージID : 10001」 が来た場合ルールがマッチングするかテストする

・ルール種別選択	:	マッチングテスト
・メッセージID	:	10001

POINT

本書内の [< 3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作 >](#)
[<3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード>](#)
[<3.5 テストリクエスト>](#) にて説明した範囲です。

サンプル1 (3/3)

【実行操作】

⑥ターミナル操作（Linuxサーバ向け）

用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる

※赤字箇所はご変更ください。

```
curl -X POST -k "https://<HostName>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{¥"ruletable¥":¥"test¥",¥"requesttype¥":¥"1¥",¥"eventdatetime¥":¥"2020/01/01 01:01:01¥",¥"eventinfo¥":[¥"10001¥"]}"
```

⑦メール通知

右記情報の
メールが
届いたことを
確認する

件名：【OASE】通知テスト
本文：

[リクエスト情報]

トレースID :
ルール種別名 :
リクエストユーザ :
リクエストサーバ :

[イベント情報]

イベント発生日時 :
条件名 :

本メールは、『Operation Autonomy Support Engine』より
自動送信しています。

[リクエスト情報]

トレースID :
ルール種別名 :
リクエストユーザ :
リクエストサーバ :

[イベント情報]

イベント発生日時 :
条件名 =

メール通知
イメージ

POINT

本書内の< 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信>および
<4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認>で説明した範囲です。



Exastro